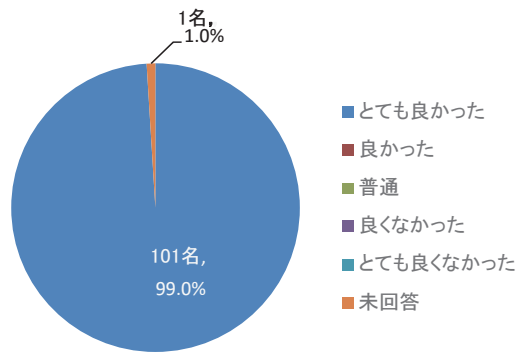


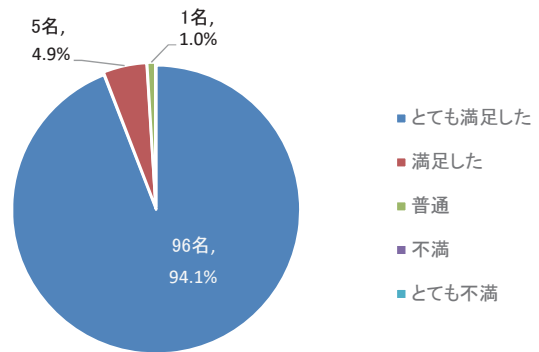
平成27年度 へき地校体験実習 事後アンケート (平成27年12月15日現在)

実施者：北海道教育大学 学校・地域教育研究支援センター へき地教育研究支援部門
 実施形式：実習直前指導もしくは実習事後手帳提出時に配布
 実施期間：平成27年9月～11月
 対象者：102名（札幌・旭川・釧路校 へき地校体験実習〔夏期〕履修生）
 回答者：102名（回答率100%）

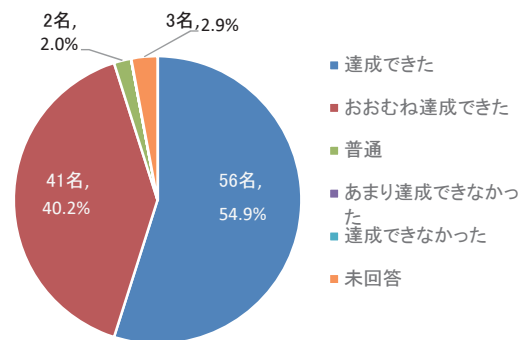
1. 実習に参加してよかったか



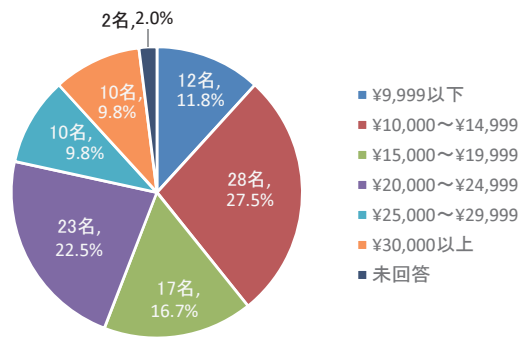
2. 実習の満足度は



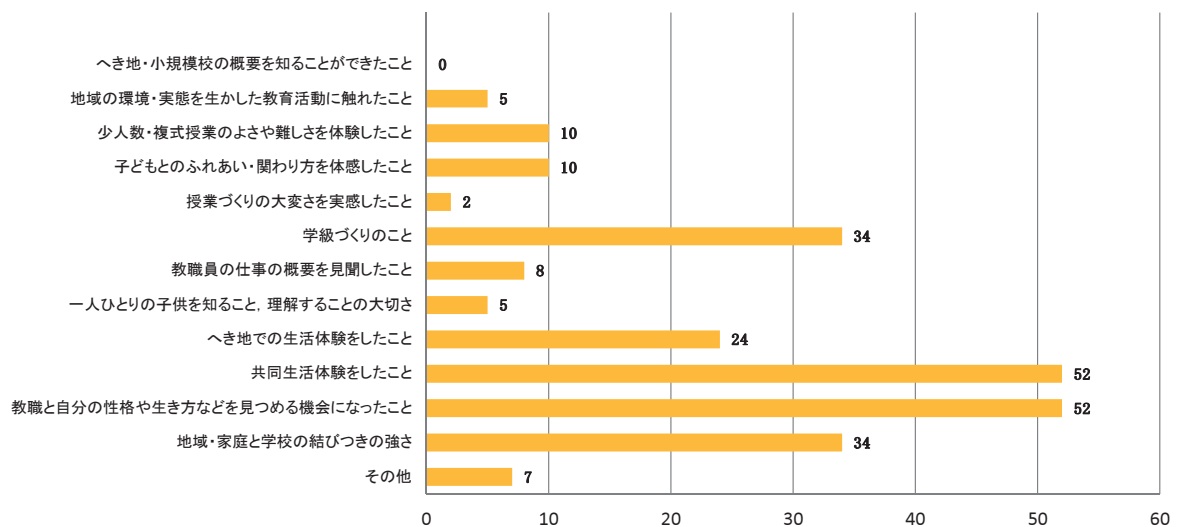
3. この実習で学びたかったことに対する達成度



4. 実習経費



5. 今回の実習で最も大きな成果・学んだこと・感じたことなど（1名2項目回答）



※43名3項目回答

1. 実習を終えた感想

- ・本当に良い経験になった。一週間とは思えない充実した実習であり、得るものは本当に多いと思う。子どもたちも素直な子が多く、実習生であるにも関わらず、すぐに受け入れてくれた。先生方の子どもたちとの関わり合い方は参考にすべき点が多く、これから教師になろうとしている自分には本当に良い勉強になると感じた。
- ・行く前は不安ばかりだったが、行ってみると先生方も生徒もとても温かく迎えてくれて、とても楽しい実習となった。また、6人での施設の共同生活もまた、ハプニングだらけではあったが、楽しく過ごすことができた。
- ・初めは不安ばかりでしたが、子ども達と触れ合う中で、もっと知りたい！という気持ちや知ってもらいたい！という気持ちが強くなり、すぐに実習校の一員となれた気がして、一週間があつという間でした。この一週間は子ども達のために何をしようということを考え、途中ハプニング（宿舎にて）もありましたが、とても真剣に毎日向き合いました。実習手帳・メッセージカード・通信等やることは大変でしたが、楽しんで全て取り組んでいた気がします。本当に幸せな一週間でした。
- ・実習では、学校の中では体験することのできない、また本実習でも体験することのできない経験ができたと思います。先生として子どもとたくさん接して、終わると宿舎で仲間と共同生活をするといった経験は、この実習でないと思えることができないと思いました。小さな学校の子供達も、皆素直で、ほぼ全員の子供と遊び、仲良くなるといった経験は、私の財産になったと思っています。できれば、また行きたいなと思っています。
- ・初めて授業（複式）を行い、複式で考えることの難しさを実感しました。後輩とも良い関係で実習中過ごすことができ、とても充実した5日間でした。
- ・へき地実習はとても自分のためになる実習である。自然も豊かで子ども達も先生方も本当に素敵な人柄で、とても恵まれた環境であった。先生を目指す人なら、ぜひとも行くべきだと思う。私はへき地実習に行き今よりも一層小学校教員を目指す気持ちが強くなった。この体験は一生自分にとって宝物になると思う。
- ・実習に行くまでは、一週間は長いと感じていたが、本当にあつという間だった。子ども達の近くで過ごすことで、子ども達の頑張っている姿を沢山見られたことや沢山交流することができ、ますます子どもが大好きになった。また先生と児童の関わりをこんなに間近で見られることはまずないので、クラスの雰囲気作り方も学ぶ良い機会となった。教師が上から目線にならず子どもに寄り添う形で、まとまりのあるクラスを作るのが理想的だと感じた。
- ・子ども達一人ひとりがたくさんパワーを持っているのだなということに気づくことができた。蛇の脱殻を見つけたり、クモがトンボを捕まえるところを観察したり、自発的に畑に水やりをしたり収穫してきいたりする姿から、子ども達ってすごいなあ、と思った。子ども達の力を引き出せる教師になりたいと思った。
- ・児童とたくさん関わることができたことはもちろん、授業の観察（単式、複式どちらも）、実際に自分が授業をするということをさせていただいたので、先生方にまず感謝をしたい。また、授業観察の視点、授業のつくりについて先生からお話をいただいたことから、先生という仕事のやりがいや難しさ、厳しさについて学ぶことができた。また、お祭りという地域の行事を通じて、学校と地域の密接した関係、人と人との関係についても実際に体感することができて良かった。へき地校の良さが直接伝わるものとなった。
- ・一言で表現するならば、「百聞は一見にしかず」。授業や事前指導などから田舎だろうと思いつつも、実際行ってみると想像以上に田舎でした。また、複式授業でも、大学で行った模擬授業と違う部分が多く、自らその良さや悪さについて考えることができました。
- ・まず、行って良かったと思いました。へき地・小規模・複式を自分の目で見られたことや、へき地・小規模・複式ならではの取組や苦労、先生方のチャレンジ精神、ポリシーも感じ取ることができ、短期間でたくさんのことを学べました。次に、時間の平等性や少子化の問題が身近に感じられました。
- ・本実習の前のへき地校体験実習ということで、初めての現場での実習で失敗してしまったことも多いように感じる。しかし、指導教員やそれ以外の先生から助言をいただいたり、生徒と近い距離で関わることができ、非常に良い経験となった。また、大学での何もわかってない状態で行った授業観察とは違い、一度自分でしっかりと指導案を作った後での授業観察であったため、どこに観察の視点を持てばいいのかを理解してやる事ができた。
- ・実習の5日間は、毎日がとても濃いものであったせいか、とてもあつという間に終わってしまった。私は、初めは不安の方が大きく、5日間でいろいろなことを学んで無事に終わられるのかということばかり考えていたが、学校に行ってみると子ども達も先生方もとてもあたたかく迎えてくださり、とても安心した。学校に行き授業を参観させて頂いたり、子どもたちと話したりすることで毎日発見があり、こんなにも貴重な時間はなかなか経験できないと思った。
- ・5日間はあつという間でした。最初は緊張して子どもたちと上手く話せるか不安でしたが、子どもたちが明るくてとても良かったです。授業づくりにおいては、指導案を作成しても実際に進めるのは難しかったです。今後の課題がた

くさんできました。先生方もとても親切な方々で色々な話を聞くことができました。

- ・実習に行き、実際に子どもたちや現場の先生方と関わり合うことができ、座学だけでは学べない様々なことを経験することができ、本当に良かった。先生として実習先では扱われ、授業をさせていただく等、貴重な経験となった。これらの経験を来年の本実習でも活かせるようにしたい。
- ・初めての教育実習で、不安でいっぱいでしたが、子どもたちには仲良くしてもらい、先生方には温かく、手厚い指導をしてもらい、とても充実した1週間を送ることができました。講義では学べない、小規模校の現状を学ぶことが出来ました。また、実際に1週間子どもたちと過ごしていく中で、子どもとの接し方や子どもたちの様子について学ぶことができました。今回、本実習を経験している先輩と一緒に実習に参加し、たくさんのことを教わり、本実習に向けて、大きな財産を得ることができました。本実習前にへき地校体験実習に参加することが出来て良かったです。
- ・児童たちが本当に親しみやすく、また優しく素直なため、離れるのが寂しかった。さらに職員の仲も非常によく、朝の打合せなども笑いがあった。お別れ会も開いてくださった。このような素敵な場所で初めて実習が出来たこと、そして授業が出来たことを幸せに思う。そして感謝の気持ちでいっぱい。
- ・辛いこともありましたが、その分、たくさんを感じ学ぶことができたと感じています。共に実習に行った2人とも互いに励まし合い、学ぶことができました。子どもたちや先生方にも支えられ、とても素敵な時間を過ごすことができたと思っっています。実習に行き、本当に良かったです。
- ・模擬授業をすることに全く抵抗がなくなり、授業をするのが本当に楽しいと思えた。学校中の人気者になれている感じでとても楽しく、他の学年の児童まで名前を覚えて話しかけてきてくれるのがとてもうれしい。本当に教師としての力はついたと感じた。
- ・今回の実習では、へき地の学校の特色や特に力を入れていることなどを実際に見ることで、こんなにも一人ひとりに目が向いている学校があるということ学んだ。学校は子どもたち一人ひとりに焦点を合わせ、どのようにしたら子どもたちがのびのび生活できるかを考えている先生方で学校全体がとても生き生きしていた。
- ・とにかく恵まれた環境（教職員の方々、子どもたち、自然など）の中で実習を行うことができた。へき地校ならではの（小規模校ならではの）こと、例えば、休み時間は学年関係なく遊ぶ、給食はみんなで食べる、掃除もみんなで学年関係なくやる、登下校はバスに乗ってみんなで行き来するなど、本当にたくさん見たことも体験したこともないことばかりで百聞は一見にしかずというのはその通りなのだと実感した。
- ・たった一週間という短い時間だったが、子どもたちと直接関わり一緒に時間を過ごせたことは自分の中ですごく貴重な体験になった。自然豊かな地域で、子どもたちは本当に素直でまっすぐであり、何よりも受け入れ先の先生方が本当に親切で素敵な方ばかりで、自分もこの実習で出会った先生のような先生になりたいと思った。一生忘れられない実習になった。
- ・離島に行くのも初めて、教育実習も初めてで、不安は大きかったが、実際に子どもたちと関わって、教壇実習をさせていただいて、教職という仕事の大変さを感じると同時に面白さを知ることができ、今までぼんやりとしていた教員になりたいという気持ちが強くなった。また、小規模での教育の良い点、難しい点を知ることができたのもよかった。授業づくりの大変さを体感した。他にもたくさんを学ぶことができ、大変充実した実習だった。
- ・今まで教師には向いてないのではないかと思ったこともあったが、実習を終えて、教師として子どもとの関わり、授業することは楽しい、面白い！と感じることができた。確かな授業力のある先生、子どもを丸ごと愛せるような、懐の深い先生になりたい。教壇実習では少人数ならではの難しさも感じる事ができた。
- ・必ず何か視点を決めて実習に行くと良い。できる限り積極的に取り組み、自分の課題がわかってくるはず。本当に先生になりたいと思える実習だった。
- ・本当に行き、良かったと思います。僕は中学校の教員を志望していましたが、小学校の先生も良いなと思いました。実習が終わり札幌に帰る時は寂しい気持ちになり、フェリーが見えなくなるまで港で手を振ってくれている子どもたちの姿に感動しました。
- ・2年次のへき地実習、3年次の主免実習に加え、今回は3度目、そして最後となる小学校実習でしたが、一昨年や昨年とは違い“今”行ったことが非常に大きな学びにつながったように思います。教採を終え、いざ来年からという立場になっての実習は臨む準備や緊張感、見る視点もそれまでとは異なり、大変勉強になりました。また、先生方も“これから一緒に教壇に立つ仲間、同僚”として接して下さり、より刺激を受けました。
- ・利尻は本当に素晴らしい所でした。自然や食べ物もさることながら、そこに住む人々、子どもたちがとても温かく、最終日はまだ終わってほしくないなあと何度も思いました。フェリーからのお別れが終わって、家に帰ってきてからも、しばらくはボーっと夢を見ているようでした。人と人との出会いと別れを短い間に体験し、一回りも二回りも成長できたように思います。心から、楽しかったと思える実習でした。
- ・島の子どもたちは、各学年1クラスであるため、学年を超えた仲の良さが非常に印象に残っている。実際に学活の一

時間を任せていただいたことで、活動の前の事前説明を詳しく、わかりやすく行うことの大切さを学ぶことができた。島での地域と密着した環境に少しでも触れることができ、地域の人々との距離の近さや温かさを感じることができた。五日間が毎日充実していた。

- ・本当に楽しくこの1週間を過ごすことができた。子どもたちともたくさん話すことができ、先生方からも授業や日常生活についてのアドバイスをいただいて、とても学ぶことの多い実習になったと思う。普段、体験することのない、朝の会での連絡や、授業を行うなど、教師の仕事を経験させていただき、貴重な経験になった。実習に行ったことで、教師という職業について具体的に知ることができ、これからの自分を見つめ直す良い機会にもなったと感じた。
- ・毎日とても充実していた。子どもたちへのプレゼントの準備や実習でやりたいこと、研究授業をする際、前もって学習しているところを知れるならその内容をきちんと把握しておくとお実習中すごく楽になると感じた。実習中、担当の先生から教えて頂いたことが大学でも学んでいたことだとしても違った視点から解釈できたりととても勉強になった。子どもたちの姿に感動するばかりだった。
- ・実習を終え、教師は本当に体力が必要だと改めて感じた。子どもたちの将来にも責任がある教師は、授業も遊びも、子どもと関わる時は、全力で行わなければならないと思った。体力をもっと身につけ、子どもたちと共に勉強し、遊び、笑い合う教師になりたいという気持ちが高まった5日間であった。
- ・行く前はとても緊張するが、行ってしまおうと一日一日とても速いスピードで過ぎていってしまうため、一日一日をしっかり目的意識を持って臨むことの大切さを感じた。実習中は、とても多くのことを経験させていただき、難しさも痛感したが、教師になるためにとても大きな経験をする事ができたと感じている。
- ・1週間という短い期間でしたが、私は離任式の時に子ども達からサプライズでプレゼントをもらい、泣いてしまいました。それくらいとても感動したし、この学校で実習をすることができて良かったと感じました。5日間も毎日学校へ通ったり、子ども達と触れ合うのは初めての経験でしたが、その中でも多くのことに気づかされたり、学んだりすることができました。現場の先生方の仕事も見ることができ、またお話を聞くことができ、本当に勉強になりました。
- ・授業参観も教壇実習もあり、とにかく内容の濃い5日間だった。授業で習うよりもやはり実際にその学校をみると、子どもたちの特徴や先生方の取り組みがよく分かった。先生方からもたくさんのお話を聞くことができ、教師としての在り方を考えることができた。また子どもたちの学びに対して積極的な姿勢からこちらも学び取らせてもらったことがたくさんあった。
- ・5日間の実習を終えて、日々教師として働く先生方の大変さをまず一番に感じました。特に、へき地・小規模校に勤めている先生方は、任されている仕事の量が多く、忙しい中で日々の授業のことなども考えているということが分かり驚きました。また、短い間でしたが子どもたちとたくさん時間を過ごすことができ、子どもが好きという気持ち、教師になりたいという気持ちを再確認することができました。とても充実した日々でした。
- ・初日から子どもたちが歩み寄ってくれて、緊張なく実習を行うことができた。今回の実習では子どもたちとたくさん話して遊んだことが、私にとって最高の思い出となり、絶対に教師になろうと決意した。また、地域の方々との触れ合いもあり、へき地校ならではの雰囲気を感じることができた。貴重な経験をする事ができた実習だった。
- ・機会があるのなら、どの学生も一度は体験すべき内容だと思いました。確かに、日々の睡眠時間や机上での勉学の時間は削られますが、それを楽しむことができるほど毎日の実習は充実し、またこれまで1年半大学で勉強したことは比べものにならない勉強を感じ取ることができると思います。
- ・想像以上に実習校の子どもたちや先生方や地域の方々が温かく迎え入れてくださって、とても楽しく充実した1週間の実習にすることができた。今回の実習は着衣水泳や収穫祭、子ども獅子舞と沢山のイベントがあり、地域の方々とも沢山交流できた。地域と学校のつながりの深さを肌で感じる事ができて良かった。授業も現場での人生初授業を緊張しながらも楽しむことができて良かった。
- ・小規模校ならではの他学年同士の繋がりの深さ、地域と学校の繋がりの深さを身をもって実感できました。複式授業の観察では、大変さを感じ取れました。教壇実習では、授業の準備の大変さや授業を進める大変さを体感するとともに、自分に足りないものや反省点、学んでいきたいことを把握できた実習でした。
- ・ずっと小学校の教員となることを目標にしていたのですが、中学校の教員になってみたいと心を動かされるくらい、自分に強い影響を与えてくれる実習でした。へき地校では、その土地にある特色が強く残っているということを再認識させられ、学校と地域、家庭の結びつきがとても強いことと、その利点をもって生かせるように、自分もこれからこの経験で得たものを大切にしていこうと思いました。
- ・今回のへき地校体験実習に参加できて、実際に自分の目で学ぶことができました。どのような工夫で授業を構成しているのか、生徒との距離感など、先生方から直接、声を聞くことができたので良かったです。
- ・実習の最終日に、子どもたちが、「楽しかったよ。」「ありがとう。」と言ってくれたり、中には泣いてくれたりする子どももいて、少しだけかもしれないが、子どもたちの心の中に、自分との思い出を残せたのかと思うと、実習を頑張っ

きた充実感と、これからも努力し続けなければならないと思いが高まりました。

- ・とりあえず、あっという間の一週間だった。授業を見せていただいたり、TTとして入ったりして、子どもに教えるということの難しさを改めて実感した。また、少年団やクラブ、分掌などの学級以外での「教師の仕事」というものを知ることができた。念願のへき地小規模校での実習ができて、様々なことを学べた。自分の目で見て、感じることの大切さを改めて感じた。
- ・へき地の良さや何点をそれぞれ理解することができた。子どもの良さもそうだが、地域と学校の関わりの強さは想像していたよりはるかに強かった。
- ・とても貴重な体験ができ、知らなかったことも沢山知れて、自分の足りないところにも気づくことができ行ってよかったと思う。
- ・教師になりたい気持ちが強まる実習だった。今までよくわからなかった課題もはっきりとし、これからどう過ごすべきかを考えるきっかけをもらった。
- ・へき地小規模校の子どもたちは学年問わず仲が良く、子どもと教師の距離も近かった。そのことは子どもの実態について教師全体で把握できることに繋がっていると感じた。
- ・この実習に参加できて本当に良かったと心から思いました。自分に今、何が足りないのか、これから何を頑張っていけばよいかを見つけることができたと思います。自分を成長させてくれるそんな実習でした。